

淡路島総合観光戦略の策定について

1 目的

淡路島の地域経済を牽引する観光産業の更なる発展と、観光振興を通じて地域住民の豊かな暮らしが将来にわたって持続できる元気な淡路島の実現を図るため、今後5年間の淡路島への誘客を促進するための戦略として、新たな淡路島総合観光戦略（以下「観光戦略」という。）を策定する。

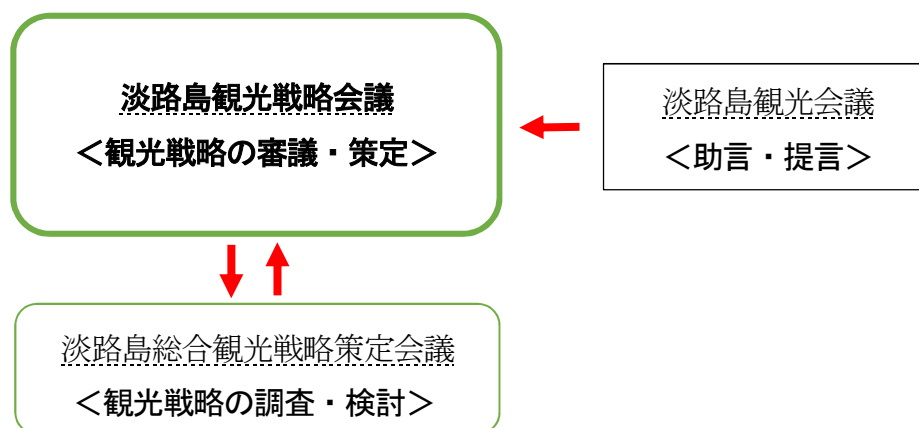
2 策定主体

淡路島観光戦略会議（以下「戦略会議」という。）

3 策定の方法

- (1) 戦略会議は、観光戦略を策定するにあたり、調査・検討を行うため、淡路島総合観光戦略策定会議（以下「策定会議」という。）を置く。
- (2) 策定会議は、観光・交通・旅行・商工・食・地域振興・マスコミの関係者、学識者、関係行政機関等の職員等で構成する。
- (3) 戦略会議は、淡路島観光会議（以下「観光会議」という。）などの意見を聴いたうえで、観光戦略を策定する。

【観光戦略の策定手順】



<参考>

- 観光会議（淡路県民局長、3市長、観光協会役員、くにうみ協会理事長、関経連会長、元京都府知事 計10人）
 - ・ 2025年大阪・関西万博の開催等を見据えた淡路島の観光振興等に対する提言

4 策定内容

- (1) 淡路島観光の現状と課題の再認識（これまでの成果、島外資本開発、他地域との比較・分析を踏まえる。）
- (2) 目指すべき姿・方向・目標（目標を明確にして）
- (3) 取り組むべき方策の視点・方向性（明確かつ具体的に）
- (4) 観光戦略（具体的な戦略や取組例など）

5 策定期間

令和5年3月

6 策定スケジュール（予定）

- | | |
|-----|-----------------|
| 5月 | 3市等関係者説明会 |
| 6月 | 3市等意見交換
戦略会議 |
| 7月 | 策定会議 |
| 9月 | 策定会議（素案作成） |
| 10月 | 戦略会議
観光会議 |
| 11月 | 策定会議（修正案作成） |
| 12月 | 戦略会議 |
| 1月 | 策定会議（最終案作成） |
| 2月 | 戦略会議 |
| 3月 | 次期観光戦略策定 |

淡路島総合観光戦略策定会議 委員（案）

分野	【前回】所属・職氏名	【今回】属性
学識者	神戸山手大学現代社会学部 教授 山崎 正雄	大学の有識者（環境・文化財・観光） 新観光戦略推進会議委員
商工団体	洲本商工会議所会頭 木下 紘一	商工団体役員（2名）
商工団体	南あわじ市商工会会長 森 長義	
商工団体	淡路市商工会会長 平松 章	
商工団体	五色町商工会会長 砂尾 治	
観光団体	（一社）淡路島観光協会 会長 檉本 文昭	（一社）淡路島観光協会役員
旅行団体	（株）JTB 西日本神戸支店長 近崎 雄一	（一社）日本旅行業協会関西支部兵庫地区役員
旅行団体	（株）日本旅行神戸支店長 大野 宏	
旅行団体	近畿日本ツーリスト（株） 神戸支店長 太田 徹也	
運輸関係	—	（公社）兵庫県バス協会淡路地区部役員
運輸関係	—	神戸旅客船協会役員
食関連	—	県飲食業生活衛生同業組合淡路ブロック役員
地域振興	（一社）瀬戸内海島めぐり 協会顧問 堀内 勝彦	（一財）淡路島くにうみ協会役員
マスコミ	神戸新聞社パートナー センター長 三好 正文	大手情報誌編集者
行政	兵庫県産業労働部観光監 松森 章子	兵庫県産業労働部観光担当局長
行政	兵庫県淡路県民局長 吉村 文章	淡路県民局副局長
行政	洲本市副市長 濱田 育孝	洲本市担当部長
行政	南あわじ市副市長 馬部 総一郎	南あわじ市担当部長
行政	淡路市副市長 金村 守雄	淡路市担当部長